

高校生による在籍校の現状や魅力化の方策等に関する主な意見 (令和3年9月に大津高校、水口高校、八幡工業高校、日野高校、伊香高校の生徒会役員等から聴取)

1 在籍校の現状について（在籍校の魅力 等）

- ・中学校の先輩や塾の先生から、明るくて楽しい学校と聞いていた。授業でも、しっかりと自分の意見を表現できる人が多い。
- ・中学生の頃からギターをしており、高校でもギターができる高校を探していた。HPや中学校の先生から情報を得て、自分の学力を見ながらこの高校を選んだ。高校選択は、自分の学力や立地条件（駅から近い等）を考慮して決める人が多い。
- ・就職が多い学校なので、社会人としての礼儀作法を入学時から指導していただける。卒業生が社会人としての礼儀作法はじめ、人の良さが評価され、それが受け継がれている。また、就職の求人他他の高校と比べても多いと聞いている。
- ・小さな学校なので、先輩や後輩の垣根が低く、みんな仲が良い。
- ・進路や勉強に関する質問に丁寧に対応してくれる。先生と生徒の信頼関係が強い。
- ・体育祭や文化祭が楽しい。明るい生徒が多く、リードしてくれる生徒もいる。文化祭では3年生と生徒会が地域とコラボして屋台を出している。

2 在籍校の今後について（さらに魅力ある高校になるために必要なこと 等）

- ・専門学科は実習授業が多いが、普通科は情報の授業（PC実習）くらいしかない。普通科でも活動ができる授業があればいいのではないかな。
- ・高校生は、スマホはよく触るがPCに触れる機会は少ない。コロナ禍でオンライン会議等PCに触れる機会が増えたので、職業教育もかねてPCやインターネットを用いた授業が増えればいいのではないかな。
- ・学科の専門性を活かして、学校の魅力を伝える動画をYouTube等で発信する。
- ・例えば、普通科に看護や保育、料理等の専門的な学びがあると、中学生にとって魅力になるのではないかな。
- ・部活動で実績を上げて、在籍校の知名度を上げる。
- ・生徒会執行部が中心となって挨拶運動等ができたらいのではないかな。
- ・地域の方から信頼されるように生徒一人一人が気を付けるとよいのではないかな。
- ・校舎が古いので、きれいにする。

3 在籍校の魅力発信の方策（アイデア 等）

- ・体験入学で、実際の部活動の様子を動画紹介（10～15秒／部）していた。学園祭等についても、実際の活動状況をHPで動画配信するといのではないかな。
- ・高校での体験入学では、中学生は質問があっても高校生に声をかけづらい。中学生の声を聞く機会として、高校生が中学校へ出向いて説明してあげれば質問しやすくなるのではないかな。
- ・中学生にスマホを持たせない家庭が多い。中学生にとって、高校の情報を得る手段としてHPが最も重要。HPの情報が古い学校もあるので、常に最新の情報に更新することは大事。
- ・中学生のときに、よく学校のHPを見ていた。中学生は、どんな高校か知るためによくHPを見ているので、学校行事の楽しい動画を載せて見てもらえれば魅力発信になるのではないかな。
- ・パンフレット等に学校紹介動画のQRコードを載せると良いと思う。
- ・スマホの普及率が高いので、映像で発信し、気軽に見られるものにする。全国的にもYouTubeを活用している例も多い。
- ・文化祭や体育祭等の学校行事をオープンにして、地域の方に見てもらえるようにすればよいのではないかな。

4 高校に入学する前、在籍校の情報を主にどこ（誰）から得たか

- ・中2頃から進路指導が本格的に始まり、高校の先生が中学校に来て学校説明をしてくれた。そこで高校のことを知り、HPで調べて深く知ることになった。
- ・塾で県内の高校一覧を見て知った。部活動や授業内容も細かく記載されていればありがたいと感じた。
- ・中1の時期は、中学生生活に慣れることの方が重要。中3では遅く、中2頃から高校の情報を知るのが適切ではないかな。
- ・中学で理科が好きだったので、体験入学に参加したら興味のある学習ができることが分かった。
- ・中学の先輩から誘われた。自分の学力もあり、中学校の先生の勧めもあった。
- ・母親が卒業生なので母親から聞いた。

5 部活動や学校行事の活性化の方策

- ・生徒会執行部が主体となって学園祭を運営しているので、生徒たちの意見を組み込みやすく、生徒にとって楽しいものが作りやすいことから盛り上がる学園祭が作れる。
- ・運動部も文化部も種類が多く、自分が興味ある部活動を探しやすい。
- ・学校行事を単独で行うのではなく、複数の学校で合同行事を行うと盛り上がるのではないかと。例えば近隣にあって気軽に行き来できる学校同士が良い。

6 魅力的なコース等の学び（こんな勉強ができればいい等、高校生の視点から見たニーズ）

- ・将来の職業が定まっている人にとっては、それに向けての勉強ができるコースがあれば将来設計もしやすいのではないかと。
- ・専門学科は多様な学びを選択できる。普通科でも、大学進学コース、スポーツコース、教員養成コース等選択肢の幅があればいいのではないかと。
- ・どの学科でもPCに触れる機会がもっとあっても良い。社会に出て就職した際にはPCは不可欠なものである。今後の社会で使える基礎的なことを身に付けておきたい。
- ・現在でも様々な類型が設定されており、生徒の学びたいことに対応できている。小規模な学校なので、これ以上類型を増やす必要はないと思う。

7 地域との連携行事のアイデア（高校生が求めるアイデア）

- ・専門学科は、その特徴を生かした取組がしやすい。普通科でも、例えば、幼稚園児や小学生に来てもらって高校生と遊ぶといった交流があってもいいのではないかと。
- ・これまでも近隣の幼稚園や小学校に出向くことはあるが、学校外とのつながりがもっとあってもいいように思う。広い世代と触れることで得られるものも多い。幼稚園など年下とのふれあいでは、教え方にも意識するようになる。
- ・本校は地元の人たちのおかげで成り立っているため、何かしら恩返しができるればいいと思う。野球部は、定期的に地域のごみ拾い活動をしている。地域の方々から感謝の言葉をいただく。地域交流の活動を増やして、感謝の気持ちを伝えられればと思う。

8 学校間交流について

- ・運動部は他校と合同練習ができるが、文化部は他校との交流は少ない。先日、他の高校や中学校の生徒会とオンライン会議をして、いろいろな人のいろいろな意見を聞いて勉強になった。他校の生徒との交流は、新しい発見につながることを知った。
- ・部活動では、積極的に他校との合同練習に取り組むべき。同時に、他校の生徒にも自分が通う高校のことを広く知ってもらう機会にもなる。

9 少人数授業について

- ・生徒一人ひとりに応じて丁寧に教えてくれるので分かりやすい。また、先生が目が行き届き厳しく指導してくださるので、しっかりした態度で授業に臨むことができる。
- ・質問しやすいので助かる。

10 その他

- ・中学校は1学級30人くらいで高校は40人多いが、大きなストレスに感じることはなかった。
- ・学校規模が大きいと、知らない人が多い。
- ・学校規模は4学級くらいがちょうどいいと思う。同級生の顔と名前も皆分かる。
- ・今後社会人として身に付けておくべきお金の知識や性に関する教育など、普段の授業の範囲外の学びの機会があると良いと思う。
- ・中学生は駅から近いとか、自転車で通えるとか、通学方法も考慮して高校を選択している。